

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公衆浴場対策補助金				整理番号	82		枝番号				
担当部課名		区民生活部管理課		コード	050101		連絡先電話番号	3754		昨年度整理番号	66		
係名				庶務係				上位施策名		No			
予算事業名				公衆浴場対策		コード	11000		安全で明るい地域社会づくり		41		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		56年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区公衆浴場設備改善事業補助金交付要綱						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区公衆浴場確保対策事業補助金交付要綱						
	東京都市民生活部商業協同組合杉並支部				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
支部が行う公衆浴場設備改善事業及び確保対策事業に要する経費の一部を補助金として交付する。				区民の入浴機会の確保のため、区内の身近なところに公衆浴場が存続している。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 設備改善事業補助浴場数				(1) 1浴場1日あたりの平均入浴人員									
(2) 区内公衆浴場数(年度末現在)				(2) 公衆浴場存続率(前年度比)									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
					計画	実績		17年度					
指標	活動指標(1)		軒	10	10	10	10	10					
	活動指標(2)		軒	52	50	50	49	49					
	成果指標(1)		人	152	151	155	150	150					
	成果指標(2)		%	93	96	100	98	100					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,400	12,800	12,650	12,352	12,253	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.18	0.30	0.32	0.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,799	1,619	2,698	2,878			1,799		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	15,199	14,419	15,348	15,230	14,052					
	単位あたりコスト ÷		円	1,519,900	1,441,900	1,534,800	1,523,000	1,405,200					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引: 一般財源 -		千円	15,199	14,419	15,348	15,230	14,052						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		100.0		活動指標(2)の15年度達成率%		98.0		15年度予算執行率%		97.6	
		毎年度計画的に各事業に取り組んでいる											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内の公衆浴場数は昭和56年度の108件から平成16年度7月現在は48件に減少。自家風呂保有率は昭和63年度の76.8%から平成10年は92.5%に上昇する一方、1浴場1日あたりの平均入浴人員は291人から平成15年度は150人に減少している。また、設備改善事業は平成16年度をもって廃止となる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	浴場数は毎年減少傾向にあり、今後も減少するものと思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 区内公衆浴場の存続を図り、区民の快適な生活環境を維持している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 区民の入浴機会確保のため、浴場経営が継続できるよう補助を行っている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 経済的な補助だけではなく、広報紙記載を増やすなどの宣伝支援等を増やしていく。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 入浴料金は都で統制され金額が決められる。また、浴場の数を維持するために、自助努力を求めつつも浴場経営者の負担を増加させることは困難。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 12年度に事業を見直し、事務量は削減された。これ以上コストを下げるのは困難。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 従来の自助努力のほかに、快適な施設設備、積極的な広報・宣伝活動に取り組む経費の一部を補助することにより、利用者の		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 経営者の高齢化、後継者難、施設の老朽化などが施設存続の阻害要因になっている。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	設備改善事業については、廃止予定。 確保対策事業については、区内公衆浴場数の減少のため微減。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域防犯対策				整理番号	83		枝番号		
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050101	連絡先電話番号	3769		昨年度整理番号		
係名				防犯担当係		上位施策名			No		
予算事業名				生活安全の確保		コード	10500		安全で明るい地域社会づくり		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		15年度		根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区地域防犯自主団体活動助成金交付要綱				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
安全な地域社会形成のために自主的な地域防犯等の活動を開始又は充実しようとする団体に対し、地域活動の開始等に要する経費の一部を助成する。 生活安全及び環境美化に関する施策の実施に関し、区長の諮問に応じて審議するため設置された生活安全協議会の運営を行う。				自主防犯活動が地域に広がり犯罪のない安全安心の地域社会が築かれる							
(1) 10万円×70団体 自主防犯活動団体数				(1) 刑法犯認知総件数							
(2) 生活安全協議会の開催回数				(2)							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		16年度	16年度			
指標	活動指標(1)	団体数	0	0	30	30	70	70	42.9		
	活動指標(2)	開催数				7	12	12	58.3		
	成果指標(1)	件	10,616	11,115		10,752	10,000	10,000	107.5		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	28,776	22,938	10,132	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人			1.48	1.48	1.48			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	13,311	13,311			
		非常勤職員分	千円	0	0	4,083	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	0	32,859	36,249	23,443			
	単位あたりコスト ÷		円			1,095,300	1,208,300	334,900			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	32,859	36,249	23,443				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	79.7				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		新規事業									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	自主防犯団体設立数 H15年 30団体 犯罪発生認知件数 H14年 11,115件 H15年10,752件 地域安全対策重点モデル地区の行動計画提言書提出 平成16年3月31日
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	自主防犯団体への助成金について、団体の活動開始又は充実のための補助となっているが、今後は継続していくための助成金も対象にしてほしいとの要望がある。
	今後の予測	犯罪発生認知件数も減少傾向にはなっているが、犯罪の抑止には防犯パトロールを継続していくことが重要との観点から自主防犯団体への支援は今後とも行っていくべきである。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	理由: 自主防犯パトロールを行うことによって犯罪発生件数が減少傾向になってきたことが明白である。 地域住民、区、警察、消防が一体となって安全安心のまちづくりの施策に反映するための議論の場として生活安全協議会を設置している。
	貢献度 大(理由) <input type="button" value="▼"/>	
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は	理由:
	NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^) <input type="button" value="▼"/>	
	協働等は実現しているか 一部実現している(^) <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容: 安全な地域社会の形成のために自主的な地域防犯等の開始又は充実しようとする団体に対し、防犯活動の開始等に要する経費の一部を助成し、防犯・安全パトロール、防犯に関する意識の向上を図り防犯や安全確保の活動に積極的に取り組んでいる。 自主防犯団体も徐々に増えているが立ち上がり間もない団体も多い中で、警察と区が連携していくことが必要であり、団体活動が活性化するように支援を継続しつつ団体の成熟度に応じ協働の内容を構築していく必要がある。 生活安全協議会委員は学識経験者、防犯関係団体、公募委員、関係行政機関から幅広く委員として参画していただいている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) <input type="button" value="▼"/>	
協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容) <input type="button" value="▼"/>		
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	理由または具体的内容: 一団体あたり10万円を限度として助成しているためそれ以上の経費や今後の活動経費は対象としていない。 生活安全協議会設置は条例に基づくもので委員報酬の減額はできない。	
できない(理由) <input type="button" value="▼"/>		
成果向上のための方策 <input type="button" value="▼"/>		
(4) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容: 自主防犯団体を立ち上げた地域は犯罪発生認知件数の減少が顕著であることから、団体の設立に向けた一定程度の助成金は必要であるが、立上げ後については金銭的支援は想定していない。	
ある(具体的内容) <input type="button" value="▼"/>		
(5) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容: 助成金は10万円を限度に実績に応じて助成するためコストを下げる余地はない。 協議会招集通知や資料作成費用等最少経費で行っている。	
ない(理由) <input type="button" value="▼"/>		

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並区防犯団体連絡会を設立し、その中で自主防犯団体のこれからの運営等協議を行いながらより効果的効率的な防犯活動を行っていく。 自主防犯団体等区民と協働して地域の防犯診断等を支援していく。 効果的な地域安全対策を推進していくため、生活安全協議会をより有効に機能させる。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 防犯活動に要する経費については立上げ用の助成のため継続費用は助成の対象となっていない。そのため各自主防犯団体は防犯バザー等イベントや企業への働きかけを積極的に行い継続費用の確保に努めていく。 防犯診断等のノウハウや防犯知識等を意欲のある区民や団体が習得できるよう支援していく必要がある。 生活安全協議会を形骸化しないために分科会方式で行う等活発な議論のできる素地づくりに努める。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	防犯助成金については、16年度までに自主防犯団体の設立数を100団体と見込んでいるが今後は活動エリアの空白地帯を主に団体の設立を目標とする。 一方で、自主防犯活動を活性化していくため補助金以外の様々な支援等を講じていく必要がある。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区保護司会運営助成				整理番号	370		枝番号						
担当部課名		保健福祉部児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1363		昨年度整理番号	388				
係名					子ども青少年係			上位施策名		No					
予算事業名					更生事業等		コード	23550		安全で明るい地域社会づくり					
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 保護司法						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区保護司会に対する助成金交付要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区保護司会が行なう更生保護活動、調査研究、広報活動等に要する経費に対し助成(予算に定める金額の範囲内)を行なう。				(3)						
	活動指標名(式)				(1) 杉並区保護司会人数 (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 保護司会の活動を支援し、区民が安心して生活できるまちをつくる。						
成果指標名(式)				(1) (代)参加者延べ人数 ÷ 研修会開催回数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画		目標値	目標値に対する15年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		人	123		125		125		126		125			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		人	96		81		125		91		125			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	600		600		600		600		600		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.11	0.00	0.11	0.00	0.10	0.00	0.11	0.00	0.10	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	989		989		899		989		899		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	1,589		1,589		1,499		1,589		1,499			
	単位あたりコスト ÷		円	12,919		12,712		11,992		12,611		11,992			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	1,589		1,589		1,499		1,589		1,499				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		100.8		活動指標(2)の15年度達成率%				15年度予算執行率%		100.0		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			幅広い活動を行うために、学校等関係団体との密接に連携を図るよう働きかけた。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区における1人当たりの保護観察事件担当件数	H13	H14	H15
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保護司人数	123人	125人	126人
		保護観察事件件数	延225人	延262人	延232人
今後の予測	犯罪が凶悪化、複雑化し、低年齢層の犯罪件数においても増加傾向にある中で、地域の犯罪予防活動の重要性がますます高まっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 保護司及び保護司会の活動は犯罪予防や、犯罪を犯した人が更正し地域社会で生活できるよう支援するなど、安全で明るい社会づくりを目指している。		
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)		理由: 保護司法第17条に、地方公共団体は保護司及び保護司会の活動が、犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに犯罪を予防し、地域社会の安全及び住民福祉の向上に寄与するものであるため、協力をすることができるとうたわれている。 理由または具体的内容:		
	協働等は実現しているか				
	協働等の相手				
	協働等の主な形態				
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)		理由または具体的内容: 様々な事例についての的確に対応できるよう、活動内容の見直しや関係団体との連携関係を強化するよう働きかける。		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 助成事業という性格から受益者負担という考え方はなじまない。			
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 他の類似団体等の助成金額に比べて妥当であると考えられる。			

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域で抱える多様な問題に対して、幅広い活動が求められている中で、その時々に合わせて対応をより一層的確に行えるよう、研修会や各部会の活動内容等の見直しや関係団体との密接な連携関係を強化するよう働きかける。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 保護司の活動については東京保護観察所が指導しているため、研修内容の見直しなどについて、保護司会と合わせて東京保護観察所へも働きかける必要がある。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 目的達成のため、引き続き保護司会の活動を支援し、協働していく必要がある。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会を明るくする運動				整理番号	371		枝番号							
担当部課名		保健福祉部児童課		コード	092301		連絡先電話番号	1363		昨年度整理番号	389					
係名					子ども青少年係					上位施策名		No				
予算事業名					更生事業等					コード		23550				
										安全で明るい地域社会づくり		41				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		25年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 更生保護事業法									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 第54回東京都”社会を明るくする運動”実施要領									
	区民						(3) 社会を明るくする運動杉並区実施委員会設置要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				全国一斉駅頭広報活動及び「杉並区民のつどい」を開催する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						すべての区民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力をあわせ犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする気運を高める。			
活動指標名(式)				(1) 「杉並区民のつどい」参加者数 (2) 駅頭広報実施駅数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						(1) (代)区内非行件数 (2) 駅頭広報参加者数				
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
							計画		実績		計画		年度			
指標	活動指標(1)		人	976		940		600		758		600		800	94.8	
	活動指標(2)		駅	7		8		12		12		13				
	成果指標(1)		人	432		477				491						
	成果指標(2)		人	213		210		212		251		258				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	328		313		315		304		315		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 本年度事務事業評価から社会を明るくする運動の主な事業の一つである全国一斉駅頭広報活動も活動指標に加えた。		
	(内)委託費		千円													
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.00	0.44	0.00	0.40	0.00	0.45	0.00	0.40	0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,047		3,957		3,598		4,047		3,598			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	4,375		4,270		3,913		4,351		3,913				
	単位あたりコスト ÷		円	4,483		4,543		6,522		5,740		6,522				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	4,375		4,270		3,913		4,351		3,913					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		126.3		活動指標(2)の15年度達成率%		100.0		15年度予算執行率%		96.5			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・区内小中高等学校によるコースや演奏などを行い、同年代の子どもについても参加しやすい内容で実施した。 ・駅頭広報の啓発活動を充実させるため、実施場所を8駅から12駅へ増やした。													

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地域社会における人間関係が希薄化してきている。少年非行件数は増加傾向にあり、犯罪種別では凶悪化傾向にある。 少年非行の粗暴犯の推移 H13 25人 H14 51人 H15 22人 少年非行の推移 H13 432人 H14 477人 H15 491人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	犯罪の多様化がすす地域全体で犯罪防止に取り組むことが不可欠になっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 啓発活動としての本運動は、全体として非行件数の減少に寄与していると思われる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 区長を委員長とし、保護司会、青少年育成委員会、PTA、町会などの地域団体の代表からなる実施委員会を組織し事業を行っている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 「杉並区民のつどい」の内容・周知方法について、工夫する。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 積極的に運動に参加し、運動の趣旨を理解してもらうためには、受益者負担の考え方はなじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業費の大半は分担金であり、その他の経費は必要最小限で予算計上されているため、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「杉並区民のつどい」について、出演者(団体)の選定や演目について工夫をするなど、より多くの区民が参加しやすい運動内容にしていく。 駅頭広報活動について、広報活動の時間帯、配付物等について工夫をし、効果的な啓発活動にしていく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	平成17年度は「杉並区民のつどい」をセッション杉並で行う予定であり、杉並公会堂で開催していた平成14年度に比べて入場者数が制限される。このため、駅頭広報などの機会を活用し、「社会を明るくする運動」の周知を図る。		